

第42回厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会

議事概要

1. 持ち回り開始日
令和2年2月14日
2. 持ち回り終了日
令和2年3月4日
3. 方法
持ち回り開催による
4. 議題
＜報告事項＞
 - (1) 改正健康増進法（受動喫煙対策）の全面施行に向けて
 - (2) 健康寿命延伸プランについて
 - (3) 「健康増進事業実施者に対する健康診査の実施等に関する指針」の一部改正について
 - (4) 国民の健康づくりに向けたPHRの推進に関する検討会について
 - (5) 日本人の食事摂取基準（2020年版）について
 - (6) 東京栄養サミット2020について
 - (7) 平成30年国民健康・栄養調査結果の概要について
 - (8) 地域・職域連携推進ガイドラインの改訂について
 - (9) その他

5. 持ち回り開催結果

報告事項に係る主な意見は下記のとおり。

○ 議題（2）について

- ・ 資料2の1頁のⅢの3つめ、「介護報酬インセンティブ：2020年度中に結論」とあるが、介護の仕方で日常生活を取り戻せる可能性もあるので、積極介護介入が望まれている。そうした支援がインセンティブで評価され、改善させると倒産する、ということのないようにお願いしたい。

○ 議題（3）について

- ・ 健康診査に関しては、生活保護及び後期高齢者など、健診が任意のため健診実施率が低くなっているのが現状と考える。自治体が意識を持ち、これらの事業に積極的に関わることが重要と考えることから、周知等を実施していただきたい。

○ 議題（4）について

- ・ マイナンバー制度の義務化、徹底が前提となると思う。ここも含めた議論をお願いしたい。
- ・ 健康診査等専門委員会では令和3年10月請求分からの薬剤情報の提供も上がっている。「国民の健康づくりに向けたPHRの推進に関する検討会」の目的の中で、既に進んでいる事業状況も踏まえPHRの環境の整備をするとある。患者のためのPHRサービスにな

るために薬剤の部分については薬剤師会との十分な連携をお願いしたい。

○ 議題（7）について

- ・ 資料7の2頁の表2 1週間の平均的な就業時間と生活習慣等に関する状況において、就業時間が長くなるにつれて、生活習慣病のリスクを高める飲酒している者の割合が高くなっている。

就業時間と多量飲酒の関係は、下記のメタ解析結果からも報告されており、就業時間の長さは危険な飲酒のリスクであることが示されている。

このような知見は、産業衛生において広く知っていただく必要があると考え、コメントさせていただく。

Virtanen M, et al. Long working hours and alcohol use: systematic review and meta-analysis of published studies and unpublished individual participant data. *BMJ*. 2015 Jan 13;350:g7772.

○ 議題（8）について

- ・ 地域や職場、二次医療圏によっても課題が違ふと思うが、健康サポートを出来る資源の活用をお願いする。具体的な取組は財政支援を行うことで、地域のリソースは活用できると考える。